

Cente Technical Information

発行番号	007-0002	Rev	第1版	発行日	2014/03/14
題名	NTPサーバによっては、まれに取得する日時が不正(2036/2/7)になることがある現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente TCP/IPv4オプション SNTPC Ver.1.02 - Ver1.10				
関連資料	なし				
【該当するユーザ環境】 一時的に現在時刻が取得できない状態となるNTPサーバを使用する環境。					
【障害内容】 一例として、情報通信研究機構(NICT)のNTPサーバに対して現在時刻を問い合わせたとき、まれに現在時刻として「2036年2月7日 6時28分15秒」という結果が返ることがあります。					
【発生理由】 RFC4330では、NTPサーバが何らかの理由でクライアントに対して現在時刻を返せない状態になった場合、NTPパケット中のStratum(階層)を0にした応答を返すとされています。情報通信研究機構(NICT)のNTPサーバでは、正しい時刻を再設定するまでの間は一時的にこの状態となるとの情報があります。 参考： http://www2.nict.go.jp/aeri/sts/tsp/PubNtp/qa.html#q4-2					
Cente SNTPCではStratumが0の応答だった場合も時刻を取得できたとして正常終了しており、不正な時刻「2036年2月7日 6時28分15秒」を返していました。					
【回避方法】 ・ソースコードを修正し、Stratumが0の応答だった場合は破棄してリトライさせます。 (改変箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。) ・独自に実装しているなど、通常応答でもStratumが0になっているNTPサーバをお使いの場合は、正しく時刻を取得していますので、現状のままお使いください。					
以上					